



外国につながるのがある生徒の日本語学習支援者養成講座



外国につながるのがある生徒の高校進学率は少しずつ上がっています。また、さらに大学、専門学校を目指す傾向にあります。

日本語ゼロの生徒をはじめ、様々な経緯の中学生に対し、将来につなげる日本語・教科学習支援について学びます。また、中学生の支援を知ることは、小学生の支援をしている方にも子どもの人生に沿いつながっていくという意味で役に立つでしょう。

学校での支援と地域での支援そしてその連携(第4回講座)については、ぜひ中学・高校の先生方にも参加いただきたい講座です。

～中学校での支援経験の豊富なそして地域支援の視点もお持ちの小川郁子さんを講師に迎えます～

1. 講師：小川郁子さん

1989年より小中学生の日本語指導。2000年まで区教委日本語指導講師、文部省中国帰国児童生徒巡回指導員。東京外国語大大学院地域文化研究科日本専攻博士前期課程修了。2000年より東京都公立中学校教員、2004年より江戸川区立葛西中学校日本語学級教員、その後北区立稲付中学校日本語学級教員。今年3月定年退職後、日本語を母語としない中学生のための地域の学習支援教室を立ち上げ、また、高校の非常勤講師として、日本語を母語としない生徒のための取り出しのJSL現代社会を担当。

2. 会場：8/30(日)、9/27(日) 伊勢崎市民プラザ 伊勢崎市富塚町220-13
9/13(日)、10/11(日) 伊勢崎市絢の郷 伊勢崎市昭和町1712-2

3. 受講料：無料

4. 定員：50名 (先着順)

5. 開催日時及びテーマ：

No.	日時	テーマ	内容
1	8/30(日) 15:30~18:30	中学生の日本語指導	日本語ゼロで来日した生徒たちは、いきなり日本の中学校に入り、わずか数年で日本人生徒と同様に日本語で高校受験をしなければなりません。この時間的に厳しい現実を受けとめ、できるだけ効果的に学校生活と学習活動に適応するための、中学生の日本語指導の方法を考えます。
2	9/13(日) 15:30~18:30	JSL教科学習支援	日本語だけを学習しているわけにはいかない中学生たち。在籍学級の授業は日々進み、彼らも新しい知識・情報・考え方を獲得していかなければなりません。そこで、使う日本語は極力やさしくわかりやすくしつつ、教科のポイントはしっかり学習できるような支援の方法を考えます。
3	9/27(日) 15:30~18:30	進路支援	高校進学は彼らにとって大きな人生の岐路です。進学に必要な情報を自分で収集して、自分の人生設計の中に高校進学の意味をきちんと位置づけて、しっかりと進路を決断する力をつけてほしいものです。さらに仲間とともに支えあって努力できる生徒に育てる進路指導を考えます。
4	10/11(日) 15:30~18:30	適応支援・国際理解教育、学校及び地域での取り組み 学校と地域の連携	学校の中でできること、地域でできることはそれぞれの特性・利点とともに制約や限界があります。子どもたちが育つ町の大人たちがいろいろな形で力を出し合い、それぞれが関わる場の特性を生かした支援を提供しあうことで、子どもたちのための有機的な連携を考えます。

6. お申し込み・問い合わせ

Eメールにて、NPO法人Jコミュニケーション「まなびあいステーション」までお申し込み下さい。(氏名・住所・電話番号・職業もしくは所属・日本語指導経験の有無をお伝えください。)

締め切りは8月24日(月)です。ただし定員になり次第締め切らせていただきます。

Eメール：jp.ed.jcommunication@gmail.com 電話：070-5021-9103 (本堂晴生)

主催：NPO法人Jコミュニケーション 群馬県伊勢崎市本町20-1 SOAビル201

後援：群馬県教育委員会(申請中)、伊勢崎市教育委員会


本事業は赤い羽根共同募金配分事業です。